



— Jun —

## おかむら通信 182 号

令和 2 年 6 月 号

### <ご挨拶>

\*みなさま、新型コロナウィルスとの戦いで、精神的にも、肉体的にも大変お疲れでしょう。 実際の感染者数を予測してみました。

松戸市の人口 約 49 万

世の中で言われているコロナ抗体陽性が 0.9 から 5% (現段階で)。

抗体から計算すると、少なくとも 0.5 万人以上多くて 2.45 万人が感染していることになります。

公式発表では、松戸の感染数、116 (05/29)。

少なくとも、5000 人感染ですので、あと 4900 人はどこかに潜んでいることになります。 約 100 人に 1 人存在することになります。

やはりまだまだ解除されたとはいえ、3 密はさけましょう。気を抜かないようにね。

\*今月から、市の検診が可能になりました。胃がん健診（内視鏡専門医による精密な精査）もできます。（対象年齢等の制限があります。）

### <今月の言葉>

当院も、必死にスタッフ一同、毎日毎日戦っていますよ。新しく加わった庸介先生とともに。負けるものか！？

院長

### <院長から>

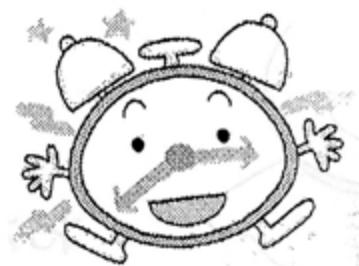
1 少しづつ、コロナの勢いが衰えてきているきざしもあります。この間に、われわれも、気を抜かずに、頑張っていきましょう。みなさま、医療機関にかかりたくても、こわくてかかるない方が少なくないようですが、当院でも感染しないあらゆる工夫をしてお迎えしてゆきます。

2 コロナではない疾病で、当院にかかりなくなった患者さんのために、在宅での診察を先月より、はじめました。クリニックと同じように、ご自宅で診察し、採血、お薬の処方などを適宜行います。

3 このおかむら通信を始めた意味は、外来で十分なお話ができないので、それを補い、患者さんからの質問に答え、医師からお伝えしたいことを知りたくためです。



•



皆様に、宣伝や教育指導しようとか、思ってではありません。できるだけ同じ目線で、理解しあう事を目的としています。

4 実は、この30年間、お上は、巧妙に、医療費をけずって、医師の数を減らしていますが、間違っていると思います。私はこのクリニックを経営していて、ひしひしと感じています。諸外国へ勉強にいってみて、他の国々の医療に対する姿勢が大分違うのです。それは弱い立場の方々に対する愛情、やさしさなどです。

5 残念ですがある患者さんで、「いつまで薬を飲まなければならぬのか？もうやめたい、」と強く主張されたかたがいました。大変危険な、お考えです。私の方で、もっと、疾患についての説明をすべきだった、と思います。

6 運動をしましょう、コロナとの戦いをしている間に、いつの間にか肥満傾向になったり、精神的にイライラが継続したり、それぞれの疾患（糖尿病・高血圧・腎機能・全身動脈硬化・肺疾患・肝とすい臓病変など）が知らず知らずのうちに悪化してしまう事のないように。例えば スクワット日に150回とかご自身で決めて！



<5月の院長の活動> 活動自粛要請のためほぼできませんでした。

13/（水）東葛みらい、呼吸器内科 亀山先生のところへ、

25/（月）松戸市小児夜間急病センター外来勤務 20時から23時まで



今世界中が大変な時ですが  
自分自身を大切にして下さい。  
私は お家で YouTube を見ながら  
ストレッチ等をしています。いろんな  
種類があるので飽きずに  
続けられています。

